

## Y07a 宇宙天気に関する報告書のパブリックコメントに対応したワークショップの実施

玉澤春史（京都大学/京都市立芸術大学）、大庭弘継、高木裕貴（京都大学）、一方井祐子（金沢大学）、菊地乃依瑠

天文宇宙分野を含めた科学技術の政策について一般市民の関心をどのように引き付けるかは常に課題であるが、数少ない市民の意見表明の場が政策や法律を決定する際に行われるパブリックコメント（パブコメ）である。パブコメには科学への市民の関心という意味で科学コミュニケーションの観点も含まれる。宇宙分野のパブコメに関する先行事例としては、2012年の宇宙基本計画（案）に対するパブコメにおいてワークショップを実施し、振り返りを行った伊藤他（2014）がある。2022年1月より総務省において「宇宙天気予報の高度化の在り方に関する検討会」が設置され、「報告書『文明進化型の災害』に対応した安全・安心な社会経済の実現に向けて（案）」に対するパブコメが5月から6月にかけて実施されている。100年に1度かそれ以上の低頻度大規模災害としての宇宙天気災害に対してどのように対応するかという観点も含めた報告書案はさまざまな分野での対応すべき内容について言及されている。これにあわせて報告書案を読んでパブコメを検討するワークショップを企画、6月3日にオンラインで実施した。ワークショップでは気象や防災との比較でどのように制度設計をすることになるのか、また報告書案で言及されている人材育成・教育についての意見がだされた。本報告ではワークショップの内容を中心に、パブコメを利用した教育普及の可能性について議論する。